

15
(金)

外見よりも心の清めを

出エジプト記三八章

青銅の洗盤とその青銅の脚を、会見の幕屋の入り口で仕える女たちの鏡で作った。(8)

幕屋に設置する青銅の洗盤が作られます。洗盤は会見の幕屋と祭壇との間に置かれ、その中に清めのための水が入れられていました。祭司は聖所に入る前に、この水によって体を洗いました。聖なる神の御前で奉仕するには、祭司たちも心と体もきよめる必要があったからです。この洗盤を造るために、幕屋の入り口で仕えていた女性たちの鏡が献げられました。女性にとって大切な鏡で洗盤を作ったということです。鏡は私たちの外面を忠実に映し出します。その鏡を用いて、化粧を整えます。けれども私たちの内面の醜さ、汚れは、化粧でなおすことはできません。神の鏡によって内面を映し出し、神によってきよめていただくことがどうしても必要です。私たちも御言葉によって私たちの心の中を照らしていただき、キリストの血によって罪の汚れをきよめていただくようではありませんか。